

予定工事 国土交通省

1

第一次大極殿院回廊基壇の整備 国土交通省

▶ 第一次大極殿院については、これまでの発掘調査や様々な研究を基に、実物大の建物等を復原整備し、併せて復原物を活用した取組みを行うことを等を通じ、往時の平城宮を体感するとともに、歴史・文化を楽しみながら学ぶことができる施設とするために、学識経験者や文化庁や奈良文化財研究所等の関係機関の代表者で構成する委員会を設置し、検討を進めている。

■これまでの経緯

第1回委員会(平成22年9月)
委員会の設置、重要公園等への説明
復原整備計画内容に当たっての作業方針等の確認
第一次大極殿院の発掘調査状況の紹介

第2回(12月)～第5回(平成23年7月)委員会
建造物の復原整備にあつた基本方針となる復原整備計画案
設計に際して、復原整備計画を反映した内容とする

第6回委員会(平成24年5月)
検討スケジュール、施工工程、現地回廊の整備と復原
構造実験計画概要

第7回委員会(12月)
復原建造物の構造検討、現地回廊の復原に関する構造実験に
ついての報告、管理・活用に伴う施設整備

第8回委員会(平成25年2月)
地盤に関する報告、現地回廊の復原に関する構造実験
についての報告、平城宮跡第一次大極殿院の現地回廊
基壇の復原整備案の協議

第9回委員会(10月)
復原案の提示、第一次大極殿院建造物復原整備案の
協議

委員会の様子(第7回)

2

第一次大極殿院回廊基壇の整備 国土交通省

○ 第一次大極殿院の復元として、回廊基壇の整備に着手する。

整備位置図 現況(修景欄)

第一次大極殿院回廊基壇整備

広場内

基壇整備箇所

3

第一次大極殿院回廊基壇の整備 国土交通省

基壇参考

4

シンボルゾーンの整備 国土交通省

▶ 発掘調査・研究の進んでいる特別史跡区域の中核部に設定。

▶ 朱雀門や第一次大極殿院などの復原建物等を中心に、歴史資産を活かした空間づくりを行い、併せて往時を彷彿とさせるイベント、歴史学習プログラム等を実施し、往時の平城宮の姿や様子を感ぜられるようにする。

5

第一次朝堂院広場の整備 国土交通省

▶ 第一次朝堂院は、奈良時代は天皇が出御し、儀式や饗宴などが行われていた広場。

▶ 現在は文化庁が朝堂(当時の役所建物)の基壇(建物の土台)を東西に遺構表示。

第一次朝堂院

遺構解説サイン
(奈良文化財研究所)

6

第一次朝堂院広場の整備

国土交通省

▶ 朱雀門から第一次大極殿院に至る宮の中心軸と往時の空間の広がりをめざし、第一次朝堂院において広場の整備を実施。

第一次朝堂院広場整備

現状

7

第一次朝堂院広場の整備

国土交通省

▶ 本工程により、第一次大極殿を真正面に見据えて往時の朝堂院の広がりを感じ、またアプローチもできるようになる。

▶ 第一次朝堂院の基壇を間近で体感することが可能となる。

▶ 往時の平城宮の様子が感じられる空間として、遺構の確実な保存を最優先に、広場を整備。

▶ 現状の遺構表示(朝堂院の基壇等)を活用する。

▶ 盛土の表面は土系舗装を行う。

整備イメージ

舗装構造図

表層 瓦砂土舗装
路盤 切込砕石 (C-30)
盛土
盛土後地盤
盛土前地盤

10cm
10cm
0~72cm

8

地下水位のモニタリング

国土交通省

▶ 第一次朝堂院広場整備にあたり、2地点で地下水位のモニタリングを実施。

位置図

観測年月日	No.1 地下水位	No.2 地下水位
平成24年4月2日	TP+66.88m	TP+66.34m
平成24年5月1日	TP+66.65m	TP+66.17m
平成24年6月1日	TP+66.21m	TP+65.49m
平成24年7月2日	TP+66.85m	TP+66.34m
平成24年8月1日	TP+66.38m	TP+66.34m
平成24年9月3日	TP+66.36m	TP+65.65m
平成24年10月1日	TP+66.85m	TP+66.35m
平成24年11月1日	TP+66.87m	TP+66.33m
平成24年12月3日	TP+66.88m	TP+66.32m
平成25年1月4日	TP+66.96m	TP+66.32m
平成25年2月1日	TP+67.16m	TP+66.61m
平成25年3月1日	TP+67.40m	TP+66.67m
平成25年4月1日	TP+67.00m	TP+65.97m
平成25年5月1日	TP+67.21m	TP+66.17m
平成25年6月3日	TP+66.57m	TP+65.66m
平成25年7月1日	TP+67.07m	TP+66.11m
平成25年8月1日	TP+66.67m	TP+65.73m
平成25年9月2日	TP+66.81m	TP+65.87m
平成25年10月1日	TP+66.70m	TP+65.80m
平成25年11月1日	TP+67.18m	TP+66.14m
平成25年12月2日	TP+67.13m	TP+66.21m

9

復原事業情報館の整備

国土交通省

○ 第一次大極殿院復原事業の意義・目的及び長期間にわたる復原工事の過程や使われる技術等を分かりやすく説明し、あわせて夏の暑さ対策や休憩、急な降雨等の際の一時避難に活用。

建物位置図

南北側立面図

東西側立面図

■計画概要

建物用途	展示施設
規模	木造平屋建
延床面積	約430m ²
建築面積	約560m ²
外装主要仕上	屋根 金属板葺 外壁 杉板(木材保護塗料塗リ) 開口部 アルミサッシ 等

■計画面積

シアターゾーン	約80m ²
専用 展示ゾーン	約130m ²
ロビー	約120m ²
その他	約100m ² (復原作業室、倉庫、廊下、機械室 等)
合計	約430m ²

10

復原事業情報館の整備

国土交通省

○ 古代の工法や技術、材料について体験的に学習する事により事業への理解を深めてもらう。

■ 復原事業情報館展示イメージ

シアターゾーン
視覚的な臨場感を提供

ロビー
多様な目的をもった利用者に対応

展示ゾーン
詳細な資料情報を提供

11

休憩所の整備

国土交通省

○ 様々な来園者への利用サービス機能として休憩所を整備。

立面図

側立面図

■ 休憩所イメージ

■計画概要(休憩所1, 2)

建物用途	休憩所
構造・規模	木造平屋建て瓦葺
建築面積	61.41m ²
床面積	43.74m ²
棟数	2棟
延べ面積	87.48m ²

12